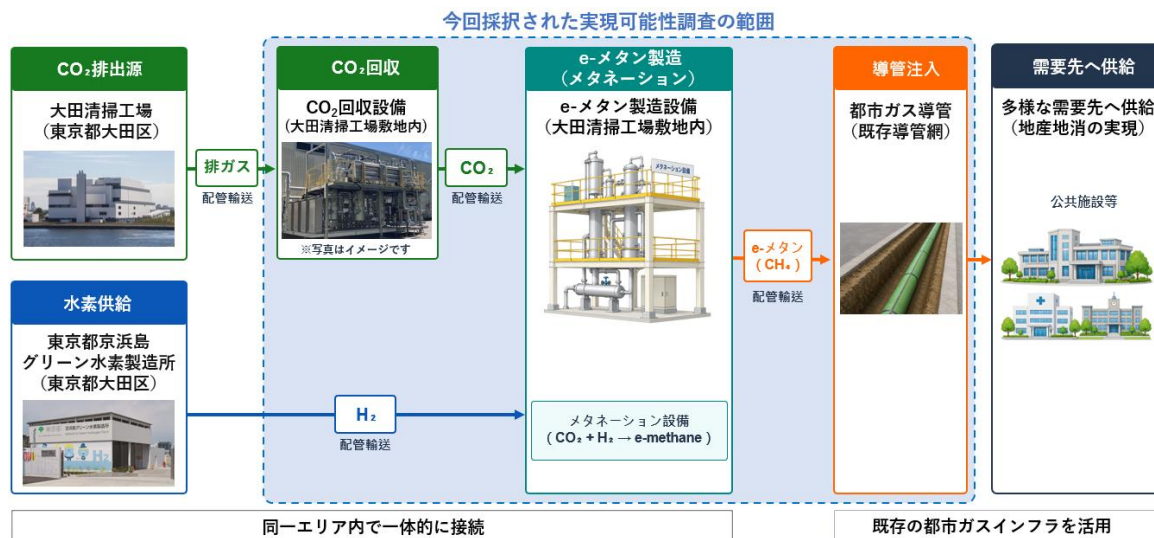


2026 年 9 月 16 日

清掃工場排ガス由来 CO₂ と東京都産グリーン水素を活用した e-methane 製造・都市ガス導管注入の実現可能性調査が東京都公募事業に採択

東京ガス株式会社
株式会社タクマ

東京ガス株式会社（社長：笹山 晋一、以下「東京ガス」）および株式会社タクマ（社長：濱田 州朗、以下「タクマ」）は、このたび、東京都が公募する「令和 8 年度 CO₂ サプライチェーン構築に係る実現可能性調査」において「大田清掃工場の排ガス由来の回収 CO₂ と京浜島グリーン水素製造所の水素を原料とした e-methane 製造および都市ガス導管注入事業の CO₂ サプライチェーン構築に係る実現可能性調査」（以下「本調査」）が採択されたことをお知らせします。



本調査は、東京二十三区清掃一部事務組合が管理する大田清掃工場（東京都大田区）の排ガスから分離・回収した CO₂ と、東京都京浜島グリーン水素製造所で製造されるグリーン水素を原料として e-methane（以下「e-メタン」）を製造し、これを既存の都市ガス導管網へ注入することで、公共施設等を含む多様な需要先へ供給するサプライチェーンの構築に係る実現可能性を調査するものです。

大田清掃工場の近傍には東京都京浜島グリーン水素製造所および都市ガス導管が近接しています。本事業ではこの立地特性を活かし、CO₂ 回収から水素供給、e-メタン製造、都市ガス導管注入までの一連の工程を同一エリア内で一体的に接続することで、e-メタンの製造に必要な原料を配管により連続的に供給する仕組みを検討します。

清掃工場の排ガスは、都市部において安定的に確保できる CO₂ 排出源であることから、本事業は大田清掃工場を対象としたモデルケースにとどまらず、他の自治体の清掃工場においても CO₂ 回収・利活用を展開していくための第一歩となることを目指しています。

両社は、本調査を通じて得られる知見を活かし、都市部における実装可能な CO₂ サプライチェーンモデルの確立を目指すとともに、「2050 年カーボンニュートラル」の実現に貢献してまいります。

■事業概要

実施場所		大田清掃工場（東京都大田区）
原料	CO ₂	大田清掃工場の焼却排ガスから化学吸収法により分離・回収
	水素	京浜島グリーン水素製造所（東京都大田区）よりパイプライン等を活用して供給
e-メタン 想定最大製造能力	25 Nm ³ /h	
CO ₂ 削減量	約 393t-CO ₂ /年	
実施スケジュール	2026 年度：テスト実証（メタネーション触媒への影響評価等）、各種法規制・国内外制度状況等の調査 2027 年度：事業化に向けた概略設計、経済性評価、事業スキームの検討	

<参考>

実現可能性調査後の ロードマップ	2028~2030 年：FEED 2030 年～：事業化（需要先への e-メタン供給）
---------------------	--

■役割分担

東京ガス	事業全体の統括、これまでのメタネーション実証で得た知見を活かした事業計画の策定および事業化検討
タクマ	大田清掃工場の排ガスからの CO ₂ 回収設備（化学吸収法、省エネ型吸収液を用いた CO ₂ 回収設備）の概念設計および経済性評価

以上